

# 令和3年度 核融合科学研究所技術研究会参加報告

共通機器部門・情報基盤機器管理班 新開 薫

## 1. はじめに(目的等)

国立公私立大学法人・共同利用研究機関等の技術職員が、業務工程・研究補助等に従事を行う際、作業工程中において、失敗や成功・工夫創意・作業の簡素化の報告等含めた案件を発表者と参加者同士にて、口演発表の場を通じて、業務に関わる技術や関連性がある技術も含めて、最新動向の情報収集・技術知識習得することを目的に参加した。

## 2. 期間・場所

期間:令和 4 年 3 月 10 日(木)~ 11 日(金)

場所:オンライン開催(zoom形式)

## 3. 参加者等

国立大学法人・公私立大学法人等・及び大学共同利用機関法人(核融合科学・情報・システム研究機構・遺伝子学・基礎生物学・生理学・分子科学等研究機構)の技術職員、企業研究所、290名程度

## 4. 研修内容

1日目・研修基調講演 光でプラズマ内部を探る

核融合科学研究所 大型ヘリウム装置計画研究総主幹 居田 克巳 教授(main roomにて聴講)

・口演発表 セッションルーム1(OSR1), セッションルーム 2(OSR2), セッションルー3(OSR3)から分野別に移動して聴講。口演発表後、各発表者との交流ルームへ移動して、個別・集団質疑応答及び情報共有意見交換を行うため移動し、意見交換会参加後に交流セッションへ参加。計 15件  
・超低温設備見学会に参加。

2日目・口演発表 1日目と同様の方法で、セッションルーム1~3へ分野別に移動して聴講。

各発表者との交流ルームへ移動して個別・集団質疑応答及び情報共有意見交換を行うため移動し、意見交換会参加後に交流セッションへ参加。計 24 件 ・オンライン見学会の参加。

## 5. まとめと感想

基調講演では、分光システム(3要素)波長・時間・空間分解能があり、グリズム分光器を用いて、イオンの速度分布関数測定や高時間分解計測に適している等や関係性の答弁も含めて、関連情報を得た。口演発表は、施設維持・光学操作・装置管理系・学生実習系が多く、情報系は3件でしたが、関係性がある分野発表も多数あり、とても有意義で、情報知識技術から、必要な事柄を得られた。2日間のオンライン見学会は、現地開催以上に詳細な機器装置稼働状況説明が特に理解が得られた。配属先PC参加なので、トラブル・予算執行・物品購入・問い合わせ・検品受領等対応作業も並行して行ったため、要所部分が多々聞きそびれた場面があり、現地開催での専念必要性を痛感した。